



松浪中だより



令和7年11月号

校長 作道 亜貴子

秋になったのだなと実感したのがつい先頃で、一気に秋が深まり、冬の気配も感じます。木々は慌てて紅葉し、葉を落としているようです。今年も残り 2 か月。大きな行事も終わり、各学年としての生活にも慣れ、今月はじっくりと腰を据えて生活できる日々になりそうです。11月はいじめ暴力撲滅運動期間となり、全校で取組を行います。新聞報道に、10月30日付で「小中高いじめ最多5万件超」の記事が掲載されました。いじめ認知件数、不登校児童・生徒数共に過去最多ということです。心が痛みます。見過ごすことはできません。松浪中にあたたかい心と言葉のやり取りが常にあってほしいと願います。皆さんには自分が発した言葉は相手にどう受け取られるのか、相手が傷ついてしまう言葉を発していないか、話す前に一呼吸置き、考えられる人であってほしいです。自分の思いを美しい言葉にして相手に伝えていきたいものです。



感動の合唱大会

10月21日(火)に茅ヶ崎市民文化会館で合唱大会が行われました。日頃の練習の成果を充分に発揮できた、本当に素晴らしい大会でした。一人ひとりが真面目にひたむきに臨む姿が見られ、どの学年も自分たちが努力してきた日々を存分に発揮できていました。1年生は元気でパワフル、伸び伸びと、2年生は1年生の頃より難曲に挑戦し、成長を感じました。3年生は、大人の声で厚みもあり、響きもあり、さすが最上級生の貫禄でした。各学年、その学年らしさが出ていました。やはり、3年生の全体合唱は圧巻でした。



また、実行委員として早くから行事の企画、運営に関わってくれたメンバー、指揮者、伴奏者、パートリーダーをはじめ、めくりを作成してくれた人など様々な多くの人たちの力が合わさって行事を成功させることができました。松浪中生全員に心からお礼を言いたい気持ちでいっぱいです。

約一か月の練習の中では、様々な出来事があったと思います。それらをすべて乗り越えてきた皆さんが一生懸命に自分たちの音を届けようとしていた姿は聴衆の心を打ちました。一人ひとりの心の響きが一つの音になってすべての人の心に届きました。すべてのクラスが最優秀賞です。一生懸命に取り組んだことがあなたたちの財産となってくれたはずです。心に残る一日となりました。感動をありがとうございました。保護者の皆様、お忙しい中お越しいただき、誠にありがとうございました。

(1年生の部)課題曲『夢の世界を』

最優秀賞 1年 B組『My Own Road
—僕が創る明日—』

優 秀 賞 1年 C組『笑顔をわすれてし
まった君に』

1年 A組『涙をこえて』

1年 D組『COSMOS』

(2年生の部)課題曲『モルダウの流れ』

最優秀賞 2年 D組『地球星歌～笑顔
のために～』

優 秀 賞 2年 B組『あなたへ
～旅立ちに寄せるメッセージ～』

2年 A組『Replay』

2年 C組『旅立ちの時
～Asian Dream Song～』

(3年生の部)課題曲『大地讃頌』

最優秀賞 3年 A組『青葉の歌』

優 秀 賞 3年 B組『青い鳥』

3年 C組『証』

3年 D組『手紙～拝啓十五の君へ～』

県中学校駅伝競走大会 陸上部大活躍！

松浪女子初栄冠！12月の全国大会出場へ
男子も10位入賞！



11月1日(土)横浜八景島海の公園にて実施されました。

女子駅伝1区○ 2区○ 3区○ 4区○ 5区○

たすきを確実につなぐのだという強い意志と優勝にける熱い思いを感じました。

本当に素晴らしかったです。おめでとうございます！

浪中生の活躍 様々な場面で活躍する姿が見られました。

- ・緑が浜フェスティバル 9月28日吹奏楽部演奏
- ・地区中学校音楽会11日 市民文化会館にて吹奏楽部演奏
- ・松浪地区市民体育祭12日 陸上部ボランティアによるお手伝い
- ・地区英語弁論大会18日 3年○さん出場

「Adversity makes a chance(逆境をチャンスに)」

- ・税の標語 神奈川県間税会連合会入選 3年○さん

※ 部活動、秋の大会の結果報告については次号で紹介します。

【保護者の皆様へ】

授業参観ウィーク 16日(木)～22日(水) 個別面談 22日(水)～28日(火)お忙しい中ご来校いただきありがとうございました。裏面に本校の令和7年度全国学力・学習状況調査の結果と分析を掲載しております。ご覧ください。

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果と分析

令和7年4月15日(火)、17日(木)に中学校3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が実施されました。新聞等で結果が報道され、3年生への返却は済んでいますが、学校全体の結果と分析、今後の取組をまとめました。今年度は国語と数学(毎年の調査)、理科(3年に1度程度)の試験が実施されました。また、生徒質問調査は一人一台端末を活用したオンラインで実施されました。

国語

平均正答率は全国と比較して、どの調査項目においても高い結果となりました。日頃の授業においても、文章を読み、理解し、主体的に自分で考えて、話したり書いたりして、相手に伝える。また、他人の意見や考えを聞き、さらに自分の考えを深めるというサイクルが確立していることがうかがえます。そして、校内研究の柱としている「学びあい」の実践を通して、生活や学習の基盤となるスキルを高めています。

『文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか』、『文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか』の質問では、『よくしている』という回答の割合が全国を大きく上回っていることから、読んだり書いたりした後に、その文章を丁寧に分析し、より深く理解しようとしていると考えられます。

全体的に無回答率が低く、さらに記述式の正解率は高く、あきらめず最後まで取り組んでいたと分析できます。

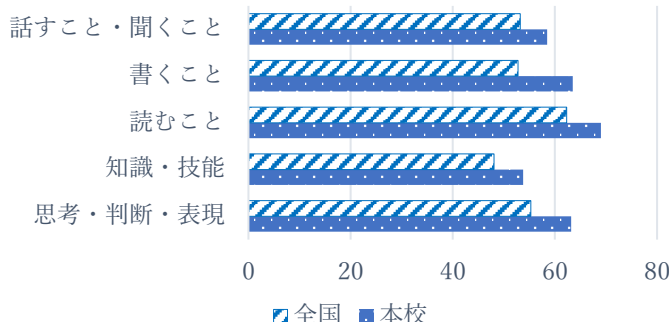
数学

平均正答率は全国と比較して、どの調査項目においても高い結果となり、「図形」や「思考・判断・表現」では大幅に高いことがわかります。

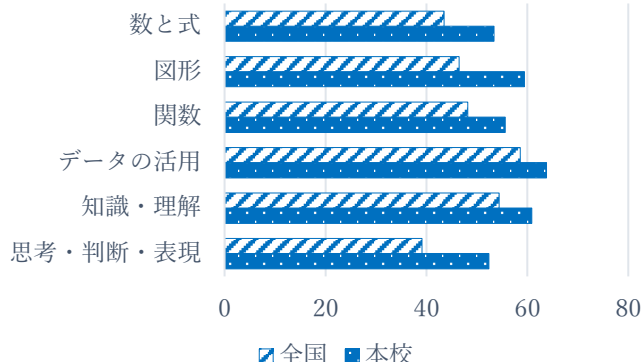
学習指導要領の領域である「図形」では、証明問題の仮定を的確にとらえ、統合的・発展的に考えながら論理的に説明できていました。「データ活用」では、不確定な事象の起こりやすさ(確率)を、数学的な表現で説明することに苦手を感じている生徒もいることがわかりました。

質問紙においても肯定的な回答が多く、授業に前向きに取り組んでいることがうかがえます。その中でも、『どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っているか』の質問では、『当てはまる』と回答した割合は、全国と比較して非常に高く、日常の授業において、考え方や考察を説明する活動を多く取り入れた結果が現れたと考えられます。

国語の調査結果



数学の調査結果



理科

どの調査項目においても良い結果となりました。その中でも、地層から水が染み出る場所を選択する問題や動画を見て、呼吸を行う生物を選択する問題の平均正答率は全国と比較して、高いことがわかりました。これは、基本的な知識を習得し、その知識を活用して問題を解こうとする思考が身についたと考えられます。一方で、『理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのか』という記述式の回答から、身の回りの事象に既習事項を関連付けて、科学的に探求し、表現する力をさらに習得する必要があることがわかりました。

質問紙においても、『理科の勉強は好きですか』、『自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか』の質問では、肯定的な回答の割合が高く、主体的に学習に取り組みながら、自らの科学的な意見や考えを持ち、問題解決へと進んでいく力を身につけていることがわかります。

生徒質問調査

生徒質問調査は学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するものです。それぞれの質問に対して、①当てはまる、②どちらかという当てはまる、③どちらかという当てはまらない、④当てはまらない、の4択で回答する形となっています。①、②を肯定的な回答と捉えた時、その数値が全国平均と比べてどうかという視点で分析しました。

○全国平均より約10ポイント以上上回る質問内容

「授業以外や平日の学習時間」「学校が休みの日の学習時間」「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか」「授業でのICT機器の使用状況」

○全国平均に約5ポイント以上下回る質問内容

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「1,2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」

本校では学力面において全国平均を上回る成果を継続しており、特に思考力・表現力・主体的な学習への取り組みに関して、大きな成長が見られました。これは、日々の授業改善や校内研究、ICTの活用、家庭・地域との連携など、教育活動全体の積み重ねの結果であると評価できます。一方で学級経営や生徒支援、社会性の育成といった側面には改善の余地があります。教科指導と並行して、生徒一人ひとりの心のケアやコミュニティとしての学校づくりを目指していきたいと思えます。今後は、次の観点を重点課題とし、さらなる教育の質の向上を図ります。

- ・児童生徒が安心して相談できる環境の整備（信頼関係づくり）
- ・学級活動・話し合い活動を通じた社会性や協働的問題解決力の育成
- ・地域社会への関心や貢献意識を育む教育活動の推進

今後も松浪中学校の学校目標である「ふれあい」、「思いやり」、「正しい行動」の育成に向けて、取り組みを進めてまいります。

